

# 第68回 国連女性の地位委員会 (CSW) 早わかり

# CSW

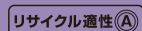
*Commission on the  
Status of Women*

# W



NWEC

独立行政法人 国立女性教育会館



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

# 1. CSWとは

国連女性の地位委員会(Commission on the Status of Women, 略称 CSW)は、国連経済社会理事会(ECOSOC)の機能委員会の一つで、グローバルな政策の決定機関として、ジェンダー平等と女性の地位向上に取り組むためにECOSOCの1946年の決議にて設置されました。CSWの任務は、女性の権利分野において早急な対応を要する喫緊の課題について、ECOSOCに提言をおこなうことです。

加盟国代表、国連諸機関、ECOSOCの協議資格のあるNGO等の関係者が、毎年ニューヨークの国連本部のCSW年次会合に集まります。この年次会合は、例年3月半ばに10日間ほど開催されます。ジェンダー平等と女性のエンパワーメントに向けた取組の進捗状況の問題点を明らかにし、国際的な基準や規範の制定、及びジェンダー平等と女性のエンパワーメントを世界中で推進するための政策を策定する機会となっています。

CSW年次会合の本会議では、その年のテーマ(優先テーマ)に沿った一般討論、閣僚級円卓会合や対話型専門家パネルに加えて、過去に議論したテーマ(レビューテーマ)の進捗状況を確認するための会合が開催されます。会議の成果として年次会合で討議した結果は、合意結論(agreed conclusion)にまとめられます。また、本会議と並行して各国政府や国連機関が主催するサイド・イベントやNGO主催の平行・イベントがニューヨーク市内でおこなわれます。コロナを契機に、2021年以降はオンラインで開催されるイベントもあります。



国連本部にある「発射不能の銃」の彫刻

## 参考:第68回CSWのスケジュール(2024)

第1週	3/11(月)	開会式・一般討論
	3/12(火)	閣僚級円卓会合・一般討論
	3/13(水)	閣僚級円卓会合・一般討論
	3/14(木)	一般討論・ユースによる対話型討論
	3/15(金)	レビューテーマに関する対話型討論
第2週	3/18(月)	優先テーマに関する対話型専門家パネル・一般討論
	3/19(火)	一般討論・非公開交渉
	3/20(水)	合意結論にかかる非公式会合
	3/21(木)	対話型討論(喫緊の課題)・合意結論にかかる非公式会合
	3/22(金)	ECOSOC決議の議論・合意結論にかかる非公式会合・閉会式

### コラム▶国連本部での展示



CSW期間中に国連本部内の通路では、ジェンダー平等に関するテーマの展示が行われます。今年はアフガニスタンの女性と女児たちの声を多くの人に届け、困難な状況に置かれた女性たちとの連帯を呼び掛ける写真展示が企画されました。教育の機会を奪われ落胆していた女性が、子供たちに読み書きや算数を教えることで力がわいてきたというコメントなどが添えられており、アフガニスタンの女性の状況の一端を知ることができました。



## 2. 第68回CSWの概要

第68回年次会合は、2024年3月11日(月)～22日(金)まで開催されました。2人の国家元首、3人の副大統領、100人以上の閣僚を含む世界の指導者と約4,800人の市民社会組織の代表が集まり、CSW史上2番目に出席者が多い会期となりました。

会期中には、優先テーマ「ジェンダーの視点からの貧困撲滅、機構強化、資金動員によるジェンダー平等達成と女性・女児のエンパワーメントの加速」とレビューテーマ「ジェンダー平等及び女性と女児のエンパワーメントのための社会保護システム、公共サービス及び持続可能なインフラストラクチャーへのアクセス(第63回CSW合意結論)」の成果と課題が共有されました。

開会式では、グテーレス国連事務総長が、紛争や危機が女性と女児に壊滅的な影響を与えており、性暴力や虐待の被害も報告されていることを指摘し、速やかな停戦と平和構築への女性の参画を求めました。また、家父長制的な価値観に基づく女性の権利のはく奪や、男性中心のデジタル技術開発による女性の権利の軽視・侵害というジェンダー格差を拡大する脅威への懸念が示されました。世界中で貧困が「女性の顔」をしており、女性に土地や資源へのアクセスがないこと、男女間賃金格差や無償労働の問題が指摘され、昨年打ち出された途上国のための年間5,000億ドルの「SDG刺激策」への拠出による女性と女児のための投資、女性のリーダーシップ推進にむけた協力が呼びかけられました。



国連本部会場内に展示されていたバナー

ラグダメオCSW68議長(フィリピン)は、4億人以上の女性と女児が極度な貧困

状況にあり、安全で尊厳が保たれた豊かな生活への基本的権利が否定されており、このような状況が続くと2030年までに世界の女性の8%が一日\$2.15以下で生活することになると警告しました。女性と女児の貧困撲滅は私たちの共通の責任であり、ジェンダー平等、貧困撲滅、包摂的な成長のためには、ジェンダー視点のある効果的で透明性の高い財政支出が必要であると述べました。

開会式後に始まった一般討論では、国連加盟国や市民社会組織の代表がジェンダー平等を推進する施策や主要テーマに関する好事例を発表しました。日本から

は加藤鮎子女性活躍担当大臣・内閣府特命担当大臣(男女共同参画)がステートメント動画の中で「女性版骨太の方針」に基づく女性の経済的自立へ向けた施策や、能登半島地震に際しての世界各国・地域からのお見舞いへの謝辞とともに、ジェンダー視点を防災に組み込む取組について発言しました。



ラグダメオCSW68議長の声明

閣僚級円卓会合では、大崎麻子日本政府代表が男女間賃金格差の情報開示義務化(従業員数301人以上の企業対象)、2024年4月から施行される困難女性支援新法による貧困・暴力等で困難な状況にある女性を包括的に支援する枠組みの立ち上げ、途上国の女児の貧困解消に向けた取組(国際協力機構債権(ジェンダーボンド)発行(2021年)を含む)について発表しました。



### 3. 対話型専門家パネル：

#### ジェンダーの視点からの貧困撲滅、機構強化、資金動員によるジェンダー平等達成と女性・女児のエンパワーメントの加速

対話型専門家パネルでは、研究機関、国連機関、マイノリティの権利のための団体、法曹界から6名の専門家が優先テーマに関する課題と取組を発表し、参加各国や市民社会組織が好事例と課題を共有しました。

世界では女性の貧困が問題となっており、コロナ禍、紛争、物価上昇、債務危機、気候変動、デジタル化等により格差が拡大・深刻化しています。専門家からは、デジタル技術を利用した租税回避を目的とした国家間資金移動が拡大し、国家財政を悪化させていること、途上国では、債務返済コストが保健、教育、社会保障などの必要不可欠な分野の予算を圧迫して女性や女児の生活に深刻な影響を及ぼしている点に懸念が表明されました。とりわけ、危機に際しての公的サービス縮小で女性の無償ケア労働の負担が拡大していることや先住民女性やマイノリティが貧困状況に陥っている割合が高いことを鑑み、複合差別やジェンダーの視点をもった貧困削減のための政策と資金動員の重要性が強調されました。

具体的には、法人税率引き下げ競争の回避や国家間資金移動のインセンティブ引き下げを目的とした法人税最低税率(15%)や累進課税の推進、経済活動に不可欠なケア労働の条件や報酬の改善、貧困撲滅のための女性の労働市場や意思決定への参入の支援、途上国に対する債務救済等に関する発言などがありました。

各国の取組として、妊産婦も対象とした栄養管理ができるデジタル食料交換券の導入や大学生による女児の補習支援プログラム(フィリピン)、雇用創出・



金融包摂に関するサイド・イベント

男女間賃金格差の是正への取組・ジェンダー平等達成の当事者としての男性の参画(EU)、初等教育の学費無償化・学校給食の支給・生理用品の学校での配布(ケニア)等が報告されました。市民社会組織からは、税制改革、ケア労働分野の労働環境改善は政府の基本的な責務であると提起されました。加えて、移住労働者を含むマイノリティの権利保障が提唱されました。

#### ユースとの対話型討論

CSWへのユースの参画促進のため、優先テーマに関して、ユース代表と幅広いステークホルダー(政府代表、NGO、関連する国連機関など)の対話型討論がおこなわれました。今年は、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、公衆衛生、災害医療、ロマの女性・少女の権利、障がい者の権利、先住民女性の権利等に取り組むユース代表5名から発表がありました。

鈴木りゆかユース代表(日本)は、「代表性」をキーワードに、日本では閣僚の平均年齢が63.5歳で、衆議院議員の女性割合がわずか10.4%であることを挙げ、国民の多様なニーズや経験が政治に反映されていないと指摘しました。

マイノリティが指導的地位につけるように、エンパワーメントと経済的支援、障壁を取り除くための具体的な措置が必要であると主張しました。



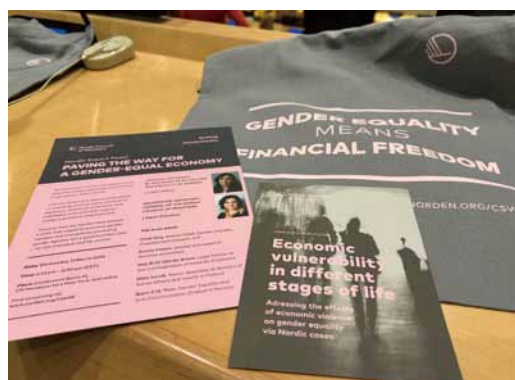
鈴木りゆかユース代表(日本)

#### 4. レビューテーマに関する対話型討論：

##### ジェンダー平等及び女性と女児のエンパワーメントのための社会保護システム、公共サービス及び持続可能なインフラストラクチャーへのアクセス

第63回CSWの優先テーマ「ジェンダー平等及び女性と女児のエンパワーメントのための社会保護システム、公共サービス及び持続可能なインフラストラクチャーへのアクセス」に関する合意結論の実施状況についての取組がまとめられた「報告書」では、各国では課題に真摯に取り組んでいるものの依然として女性の貧困やジェンダー格差がみられることが指摘されました。例えば、世界の未就学児の約40%（3億5,000万人）は保育制度が利用できておらず、6億人以上の女性が無償ケア労働のために有償労働に従事できていません。労働市場への低い参入率や低賃金の影響で年金受給額も低水準となります。女性に多いインフォーマルセクターの労働は社会保障の対象ではないか、保障が十分ではありません。財政措置における先進国と途上国間の格差、女性が多く従事する経済に不可欠なエッセンシャルワークの労働環境の改善も指摘されました。

対話型討論では女性のライフステージに沿ったデータ収集の重要性（オーストラリア）、男性が主な稼ぎ手の社会で女性のワーク・ライフ・バランスを実現するための柔軟な労働時間と保育サービスの導入（イラン）、社会保障と健康保険の対象拡大（モロッコ）、ジェンダーに基づく暴力撤廃のためのメカニズムの導入（ウクライナ）、複合差別を意識した取組の必要性（コロンビア）が議論されました。



経済とジェンダー平等に関するサイド・イベントの資料

#### コラム▶ ジェンダー平等を推進するためのAIの活用とその課題

喫緊の課題に関する対話型パネルでは、ジェンダー平等のための人工知能(AI)がテーマでした。デジタル技術のジェンダー平等は第67回CSWでも議論されましたが、今期は急速に発展しているAIが取り上げられました。世界中でAIに関連する仕事に従事する人のなかで女性は22%しか占めておらず、AI技術開発への女性の参画が低くなっています。指示に応じて自動で画像や文章を作成できる生成AIが既に公開され、使用目的が限定されない「汎用AI」の公開も予想されます。EUでは汎用AIの規制を含めたAIの規制案が2024年3月13日に欧州議会で採択されました。21日にはAIの開発や利用に関する国連初の決議案が採択され、国家間のデジタル・ディバイドと、女性の情報通信技術へのアクセス機会の少なさ、それによって生じる情報の量と精度のジェンダー格差を指すジェンダー・デジタル・ディバイドの解消、政策決定におけるジェンダー主流化を加盟国に求めています。

専門家と各国のNGOはAIの課題として、データの偏りが引き起こす女性への差別と偏見の深刻化、ジェンダー・デジタル・ディバイド、AI分野の女性専門家の不足などをCSW67に引き続き指摘し、AI技術開発への女性の参画と公平でグローバルなAIガバナンスを求めました。各国は、女性と女児のSTEM教育（科学・技術・工学・数学の統合的教育）の促進、情報アクセスの改善、法規制の整備を通じて課題に取り組み、AIサービスが生み出す新たなビジネスの機会を活用してジェンダー平等を目指す姿勢を報告しました。

本会議の合意結論には、国家間のデジタル・ディバイド及びジェンダー・デジタル・ディバイドが取り組むべき課題として盛り込まれました。

## 5. サイド・イベント

第68回CSWでは、約270件のサイド・イベントが国連及び周辺会場とオンラインで開催されました。

国連日本政府代表部と国内女性NGO3団体(日本女性監視機構／国連NGO国内女性委員会／国際婦人年連絡会)は「女性の多元的な貧困課題と草の根の対応—日本・スリランカ・グアテマラからの報告」を開催しました。経済的な面に加えて、保健、教育、生活水準にも注目する多次元の貧困というテーマのもと、日本・スリランカ・グアテマラの有識者が事例を報告しました。日本からは高齢女性が直面する孤立と貧困を解決するため、ケア労働の待遇改善とケアセクターの予算強化が求められました。スリランカからは2022年の経済危機によって特に女性と子どもが極度の貧困に陥った事実を踏まえ、ジェンダーに基づく危機の影響の違いを分析する必要が指摘されました。グアテマラのJICA事業からは、海外で働く家族からの送金を信用組合で貯蓄し、それを活かして女性がパン屋などマイクロビジネスを始める仕組みが紹介され、女性の金融教育と生計手段獲得の仕組みづくりが共有されました。

オーストリア国連代表部主催、デンマーク国連代表部・UN Women共催のサイド・イベント「ライフサイクル全体にわたる女性と女兒の経済的エンパワーメント」では、女性の経済的自立を妨げる要素として、①女性は、ケア責任と両立するため、長期間の休業やパートタイム就業を選択する傾向にあり、それが賃金や年金の男女格差に大きく影響していること、②パートナーからの経済的暴力、③経済的意思決定に必要な知識の不足、④女性起業家への資金提供が少ないことが挙げられ、それらに対し、保育サービスの充実・給食費等の補助(スロヴェニア)、給与履歴照会禁止法・妊娠中絶に関する無料の電話相談(ニューヨーク市)、学校における金融リテラシー教育・経済的自立に焦点を置いた保護者へのカウンセリング(オーストリア)など各国の取組が紹介されました。とりわけ、金融リテラシー教育について、経済的自立の基礎を築くために重要であり、人生のあらゆる段階においてアクセスできるようにする必要性が強調されました。

## 6. パラレル・イベント、NWECからの情報発信

「NGO CSW/NY」(CSWへのグローバルな市民社会組織の参画を支援する民間組織)はグローバルな市民社会組織や草の根団体の声をCSW本会議の議論に繋ぐため、会場とオンラインプラットフォームで、NGO CSW Forumを毎年開催します。世界各国から集まった市民社会組織やNGO等の代表によって約760件のパラレル・イベントが開催されました。

ジンバブエの少女と若い女性を支援するタグ・ア・ライフ・インターナショナル・トラスト(TaLI)によるパラレル・イベント「アフリカのリーダーシップにおける若い女性の代表性の推進」では、3人の若い女性たちが登壇し、アフリカのコミュニティの少女は、学校に行く前に多くの無償ケア労働や低賃金の労働に従事しており、その現状を理解している若い女性リーダーが意思決定のテーブルに着く必要があると訴えました。また、若い女性たちは(学校の中退や児童婚の)「数字」として捉えられるのではなく、夢と希望、能力を持った「声」として認められることを望んでいると語りました。

サイド・イベントとパラレル・イベントでは、優先テーマの貧困撲滅や機構強化をふまえて、各国で女性と女兒が貧困に対して脆弱な立場に置かれていることや、状況を改善するための様々な取組についての報告がありました。

NWECは「NGO CSW/NY」主催のオンラインプラットフォームに展示ブースを開設しました。ブースでは日本の男女共同参画の取組を紹介するため、国際研修、調査研究や有識者動画などNWECの事業を紹介する資料を展示しました。バーチャル・オープン・ハウスでは、NWECの事業紹介や各国の課題と取組等について、参加者と意見交換をおこないました。



NWECバーチャル展示ブース



## 7. 合意結論の概要

CSWでは、その年の優先テーマについて討議した結果を「合意結論」という形でまとめ、ECOSOCへ提出することが定められています。

第68回年次会合では、2週間にわたって言及されてきた課題が再確認され、次の6分野について各国及び関係機関で取組むことが合意されました。

### ① 既存の開発公約に係る資金調達にジェンダー視点を統合すること

女子差別撤廃条約とその選択議定書、および労働者の基本的権利に関するILOの条約の批准、既存のジェンダー平等を推進する政策や計画の実質的な実施と予算措置、労働環境の改善や無償ケア労働への対応、社会保障制度の格差是正、オンラインも含めたジェンダーに基づく暴力をはじめ、あらゆる複合的差別（障がい者、高齢者、先住民、農山漁村居住者等）の撤廃、金融サービスへのアクセス向上

### ② ジェンダー視点のある経済・社会政策の実施と公的機関の強化

ジェンダー主流化及びジェンダーに基づく暴力撤廃のための国家機関の実施能力強化と財源拡大。汚職防止、女性と女児の割合が高い貧困層が利用しやすい社会インフラ・公共サービス・社会保障のための資源配分の改善

### ③ 女性と女児の貧困の根絶に向けた支出のための財政余地の拡大

貧困撲滅のための途上国を対象とする、緊急性が高く予見可能かつ持続的な開発援助の認識、ジェンダーボンド発行の基準と枠組みの強化、ジェンダー予算や国際税務分野における包摂的かつ効果的な協力の推進、債務返済の一時停止や債務再編等の国際的な債務救済メカニズム

### ④ 持続可能な経済・社会をめざす新たな開発戦略の形成

女性の経済的エンパワーメントや女性によるビジネス・起業能力向上プログラムの推進、先進国による政府開発援助（ODA）の公約（国民総所得（GNI）の0.7%、うち0.15～0.2%は最貧国向けODAに支出）実行の要請、途上国による開発目標達成（ジェンダー平等と女性のエンパワーメント推進）にむけたODAの効果的活用の奨励

### ⑤ 女性団体・協同組合等への参画の促進と資金提供

あらゆる市民社会の関係者が安全に活動できる環境の確保、持続可能な複数年度予算の確保等の官民の財源の拡大、法的・経済的・社会的地位等の不平等な力関係、ジェンダー・ステレオ

タイプ、女性の貧困や女性と女児への差別を固定化するような慣習等、ジェンダー不平等の原因への対処、当事者としての男性と男児の参画

### ⑥ 多次元の貧困データ及び統計の量的・質的な充実

予算・技術・人材の確保による統計担当官や政府機関の能力強化、所得、年齢、民族、婚姻状況、障がい等の属性を考慮した信頼性が高いデータへのアクセス及びこれらのデータを活用した女性参画の影響分析とその分析結果の公開、持続可能な開発を図るための国内総生産（GDP）の指標を補完またはそれに代わるようなジェンダーに配慮した指標の開発

合意結論に加えて、女性と女児・HIVとAIDSに関する決議が合意されました。全ての人への保健と福祉の提供というSDGsの第3目標にもかかわらず、数百万人のHIV新規感染やAIDSによる死亡が後を絶たしません。とりわけ、ジェンダー不平等・差別・女性に対する暴力・有害な男らしさ等によって効果的なHIV対策へのアクセスが阻まれる女性と女児が大きな影響を被っています。採択された決議では効果的な政策、ジェネリック薬品や知的財産権に関する法的枠組みの整備、ジェンダーに基づく暴力や差別撤廃に向けた取組の推進、当事者としての男性と男児の参画が提唱されました。



合意結論がまとまった瞬間に立ち上がって拍手する代表团

## 8. 日本のNGOの取組

日本の市民社会組織は複数のパラレル・イベントを開催し、CSWでの議論に自分たちの活動を位置付け、日本の課題を各国の参加者と共有しました。女性の貧困や夫婦同姓規定の撤廃、日本政府による女子差別撤廃条約選択議定書の批准の推進に取り組んでいる方々の報告を軸に、ユースが議事進行を担当するなど世代間での課題の共有と活動の継承を考える機会となりました。

国際女性の地位協会(JAIWR)は、国連女子差別撤廃委員会の勧告に基づき、日本での夫婦同姓規定の批判的考察と、ユースの視点から考える日本の教育を取り上げました。日本での夫婦同姓の強制は、改姓するのが圧倒的に女性であることから女子差別撤廃条約(CEDAW)違反であると指摘され、選択的夫婦別姓制度が求められました。ユースからは、日本の教育では親のジェンダーバイアスや学校での「隠れたカリキュラム」が女性の進路とキャリア選択に強い影響を与えていること、教師が既存の性別役割に捉われないロールモデルとなる必要性が述べられました。

日本YWCAによるパラレル・イベント「日本の若い女性が抱える生きづらさ」では、7人のユースの女性が自らの経験をもとに、生理の貧困、災害時の性被害や痴漢被害、性差別的なメディア表現や不十分な性教育、家族形態の押し付け、学術分野や司法分野の女性割合の少なさ、キャリア形成に潜むマイクロアグレッション<sup>1</sup>といったテーマで日本の課題を発表しました。その後、参加者とグループディスカッションを行いました。家や学校、職場など、あらゆる場面でジェンダーバイアスにさらされ、「逃げる場所がない」と生きづらさを語ったユースのリアルな声に、多くの参加者から共感の声が寄せられました。



(写真:公益財団法人日本YWCA提供)

註1:「女性なのに数学が得意ですごい」という発言など、行為者の悪意の有無を問わず、特定の人と集団を否定する意味を含み、些細に見えるが行為の受け手を傷つける否定的な言動。

## 参考資料

外務省(日本語)  
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/women/index.html>

内閣府男女共同参画局(日本語)  
[https://www.gender.go.jp/international/int\\_un\\_kaigi/index.html](https://www.gender.go.jp/international/int_un_kaigi/index.html)

加藤鮎子女性活躍担当大臣・  
内閣府特命担当大臣(男女共同参画)発言(日本語・英語)  
[https://www.gender.go.jp/international/int\\_kaigi/int\\_csw/chii68-g\\_2.html](https://www.gender.go.jp/international/int_kaigi/int_csw/chii68-g_2.html)  
[https://www.gender.go.jp/international/int\\_kaigi/int\\_csw/chii68-g.html](https://www.gender.go.jp/international/int_kaigi/int_csw/chii68-g.html)

JAWW(日本女性監視機構)CSWとは(日本語)  
<https://jaww.info/aboutcsw.html>

国連の記者発表記事(英語)  
<https://press.un.org/en/highlights/CSW68?page=1>

UN Women ウェブサイト CSW68(2024)(英語)  
<https://www.unwomen.org/en/how-we-work/commission-on-the-status-of-women>

UN Web TV(英語)  
<https://webtv.un.org/en/search?query=CSW68>

国連が採択したAIに関する決議(英語)  
<https://undocs.org/A/78/L.49>

EUが採択したAI法案についてのウェブサイト(英語)  
<https://artificialintelligenceact.eu/>

2023年世界多次元貧困指数(MPI)報告書(英語)  
<https://hdr.undp.org/content/2023-global-multidimensional-poverty-index-mpi#/indicies/MPI>

発行：2024年5月  
編集：独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)  
〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地  
<https://www.nwec.go.jp>  
無断転載を禁じます

